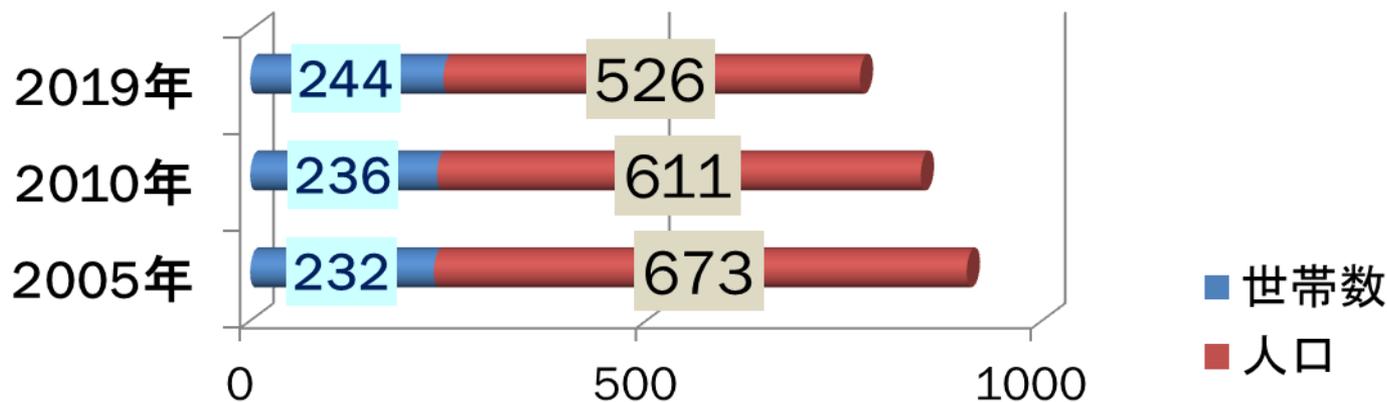


地域（河内町:小田）の現状と課題

- 過疎や高齢化が進み，若年世代の減少
- 地域住民（多世代）同士の交流の場の不足
- 小田地区の未来創生を目指した『小田ビジョン』を策定し地域の基盤再構築を図ったが、現在活動は休止中

人口・世帯数推移
(小田地区)



	2005年	2010年	2019年
■ 世帯数	232	236	244
■ 人口	673	611	526

目的（課題解決の方向性）

集まり

小田地域センターを“核”として
自治組織の各「部」・その他の町内
の団体との懇談・意見交流

**話し合い
= 会議**

何をしたいか 何ができるか

取組

イベント・講座等を広く町外に周知



“小田ビジョン”の再興

取組のポイント

◆地域資源の掘り起こし

- 地域資源（自然・人・文化・…）を掘り起こし，誰（人・団体）と・いつ・どのようなコトで連携ができるのか検討
- 休眠中の事業の改善・見直し，既存事業の活用

◆小田をまるごと学習資源に

- 地域の人・組織・事業・自然・環境・文化・歴史・生活…
地域まるごと学習資源
- 地域の人への参加は、主催事業・イベント問わず
≪参加者≫兼≪受講者≫兼≪主催補助≫兼≪講師≫兼…
- 「居場所づくり」から「役割づくり」へ

◆小田発！積極的情報発信サポート

- 地域おこし協力隊，若者層のサポーター確保

取組の概要

準備期

調査を極める（1年目）

地域への思いや現状認識の共有と未来の展望

- ① 思いを知る【インタビュー・アンケート調査】
- ② 変化を読む【地域の昔と今を知り，現状を把握】
- ③ 魅力を集める【小田の魅力再発見ーフィールドワーク】
- ④ 未来を語りあう【小田ビジョンの当てはめ方】
- ⑤ できるところから始める【現在までの事業継続，ふりかえり活動開始へ】

試行期

プロジェクトチーム企画会議（2年目）

企画立案，試行実施

小田地域センターで既に着手している事業
= 『リニューアル』 + 『チョイ足し』

例えば…【こども料理教室】→親子パンづくり教室
→親子味噌作り教室

【写真教室】 + 【小田川自然教室】

→小田川で映る（ばえる） = 地域おこし協力隊
→ドローン体験 = 空から小田川の写真を激写

【こども神楽教室】→他の地域からの参加者が体験 . . .



取組の概要

実施期

- **小田ビジョン再検討会**
- **継続事業（講座）参加者から主催補助へ**
センターまつりへの出展・協力（成果発表）
 - ・プロジェクトの紹介展示ブース
 - ・こども神楽披露→ゲスト出演
- **前年度事業（講座・イベント）継続**
- **事業継続、講師後継者養成**

発展・継続

- **小田ビジョンの見直し・修正・継続**
小田地域センターを中心に小田地区自治協議会で協議を継続
- **地域センター利用の活性化**
あらゆる年代の人が、センターに集えるよう、事業の種類、内容、回数、交通利用（地域の人同士で来られる方法）などを検討
- **歴史文化の継承**
人が集まりだしたら形として残せるように着手したい

成果指標

【定量評価】

- ・ 参加人数_河内町内・河内町外
- ・ 地域センター利用者数
- ・ 東広島市満足度調査

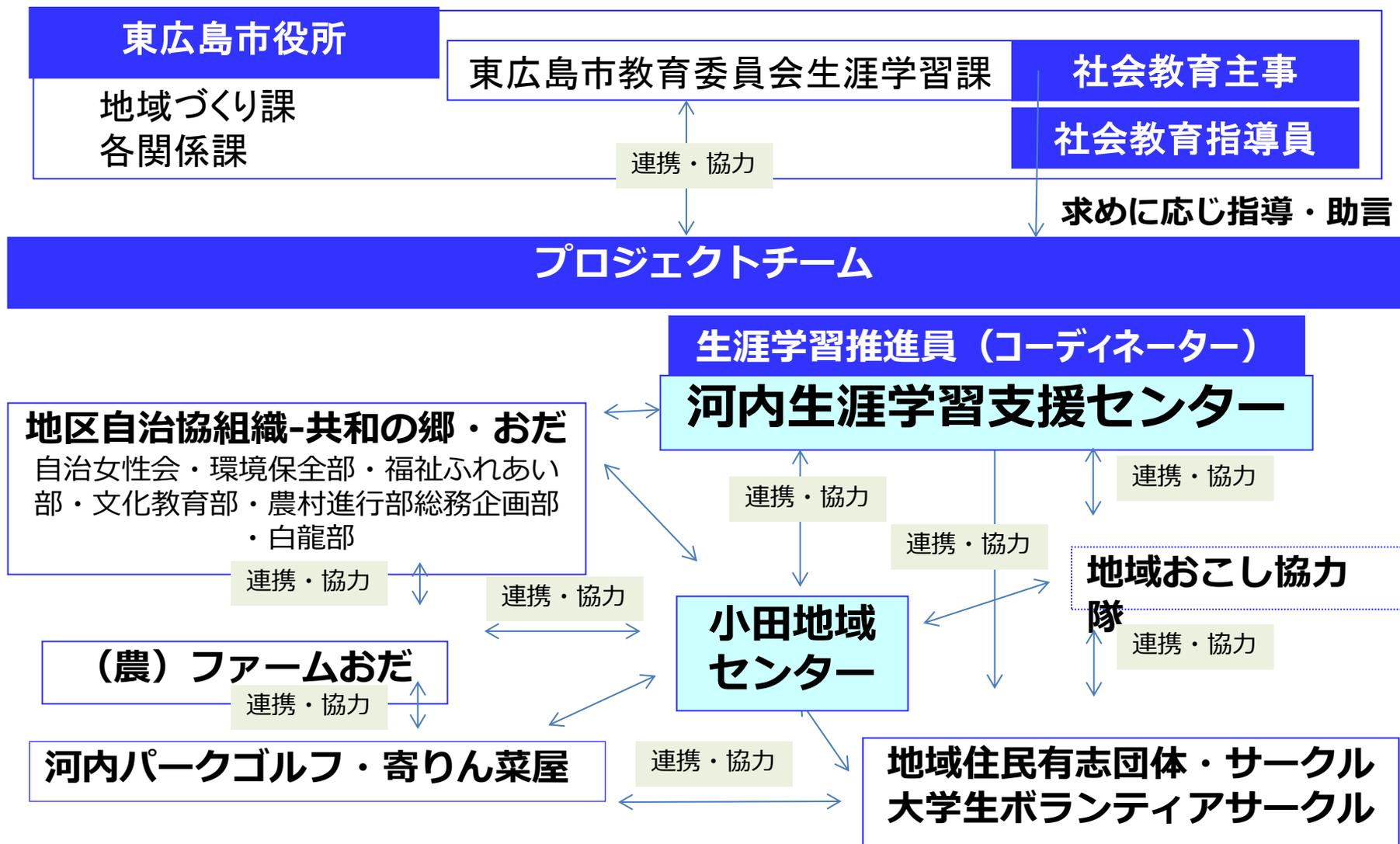
【定性評価】

- ・ 地域内ネットワークの構築
- ・ 地域外（町内）ネットワークの構築

振り返り（学びのプロセスと成果の共有）

- ・ 無理はないか
- ・ できそうもない計画だったのではないか
 - ・ もっとよい方法はないか

実施体制



スケジュール

